

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年3月27日

計画の名称	16 通学路等の要対策箇所における安全確保の推進									
計画の期間	平成28年度 ～ 平成28年度 (1年間)				交付対象	福島県、棚倉町				
計画の目標	通学路等の生活空間における安全・安心の確保を図るため、事故防止、予防保全を基本とした交通安全対策を進める。									
計画の成果目標 (定量的指標)	「通学路交通安全プログラム」における緊急合同点検」により抽出された要対策箇所の解消を進め、通学路の安全確保を図る。									
定量的指標の定義及び算定式	$\frac{\text{「通学路交通安全プログラム」により抽出された要対策箇所の解消率}}{\text{(通学路における要対策箇所の解消率)}} = \frac{\text{(解消済み要対策箇所)}}{\text{(要対策箇所)}}$						定量的指標の現況値及び目標値			備考
							当初現況値 (H24)	中間目標値	最終目標値 (H28末)	
							0%		100%	
全体事業費	合計 (A+B+C)	237 百万円	A	237 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 $C / (A+B+C)$	0.0%

事後評価 (中間評価)

○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期	
事後評価 (中間評価) の実施体制	事後評価の実施時期
土木部内検討会にて評価を行う。	最終目標値に対する実績値が確定した翌年度 公表の方法 福島県公式ホームページによる公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H28	H29	H30	H31	H32		
16-A207	道路	一般	福島県	直接	福島県	国道	交安	(国)294号 町屋工区	交差点改良 L=750m	白河市						192	継続計画で実施
16-A1020	道路	一般	棚倉町	直接	棚倉町	市町村道	交安	(他)六石平桃木田線 下山本工区	歩道整備 L=0.40km	棚倉町						20	完了
16-A1085	道路	一般	棚倉町	直接	棚倉町	市町村道	交安	(他)ルネサンス棚倉線 関口工区	通学路安全対策	棚倉町						11	他計画で実施
16-A1086	道路	一般	棚倉町	直接	棚倉町	市町村道	交安	(他)北町新町2号線外 棚倉工区	通学路安全対策	棚倉町						15	他計画で実施
											合計					237	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 (港湾・地区名)	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H24	H25	H26	H27	H28			
											合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H24	H25	H26	H27	H28		
合計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 「通学路交通安全プログラム」により抽出された要対策箇所解消率は、100%に対し、48%であったが、一部の要対策箇所が解消され通学路の安全性が確保出来た。 														
II 定量的指標の達成状況	「通学路交通安全プログラム」により抽出された要対策箇所の解消率を算出する。	最終目標値	100%	最終実績値	48%	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> 通学路交通安全プログラムに基づく、合同点検により毎年見直しされており、要対策箇所が増えている状況にあるため、目標値が達成できなかった。 								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> 通学路の歩道整備により、安全性が向上した小学校数は、321校（H23末）から369校（H29末）に向上した。 福島県内発生交通事故はH24の9,789件からH29は5,588件と大きく減少しており、通学路においても死傷事故率が大きく減少しているものと推測される。 														

3. 特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> 「通学路交通安全プログラム」の合同点検により、新たに追加された箇所等も含め、要対策箇所の解消に向け今後も取り組んで行く。 															
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(参考様式3) 参考図面 (社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金)

計画の名称	16 通学路等の要対策箇所における安全確保の推進	交付対象	福島県、棚倉町
計画の目標	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)		

パッケージ⑯ 通学路等の要対策箇所における安全確保の推進

福島県路線図

